



UTO から世界へ！ 第22号

夏の挑戦～台湾編～



熊本県グローバルジュニアドリーム事業(8月)に本校から3名高校生リーダーに任命され、台湾高雄市・新竹市に小中学生を連れて行きました。2学期始業式では、西麻希さん(2年生)が全校生徒に研修報告をしました。

高校生リーダー6名と小中学生約30名が青少年大使として任命され、共に台湾へ研修に行きました。班は熊本県の小中学生5人と高校生1人で構成され、高校生はリーダーとして小中学生を引っ張ったりまとめたりしながら施設や観光地の見学、台湾の学生との交流、夢を語るジュニアカーニバルなどを行いました。

台湾の青少年との交流会では、それぞれ母国の魅力を紹介し、日本のおもちゃで遊んだり、台湾の有名なお菓子を作ったりしました。



班のみんなで博物館や建造物、夜市などの散策としながら台湾の歴史を学びました。



成果

言語が違う台湾の学生と、英語やジェスチャーなどで会話をしながら意思疎通出来ることを学びました。また、台湾の歴史や文化などに触れ、台湾特に高雄市のことをより深く知ることが出来たとともに、今快適な生活が送れているありがたさも身にしみて感じる事ができました。

スペシャルエピソード



今後の展望

ジュニアカーニバルで高校生リーダーはアイドルというダンスを披露するため、交流会の休憩の時に踊っていたら台湾の学生もこのダンスを知っていて、一緒に踊りました。

英語を聞き取ることは結構できましたが、いざ喋ると言葉がでてこないこともあったので、英単語や文法を覚えたり、発音を練習したりしながら英語力を上げていきたいと思います。また、海外の文化にとっても興味をもち、海外で働きたいと感じたため、将来教師になり外国の日本人学校で働きたいと思っています。

